

29年8月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成29年 8月1日～ 29年8月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は4社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/8月	9月	10月
入荷動向	国産材	△ 12.5	0.0	0.0
	外材	0.0	△ 16.7	0.0
在庫動向	国産材	△ 33.3	△ 50.0	△ 50.0
	外材	0.0	△ 50.0	△ 50.0

・国産材ラミナの入荷動向は8月の減少から9月、10月は横ばいに。外材は8月の横ばいから9月は減少、10月は再び横ばいに。

・国産材ラミナの在庫動向は3カ月連続減少。外材は8月の横ばいが9月、10月は減少に。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/8月	9月	10月
国産材	0.0	12.5	0.0
欧州材	50.0	50.0	50.0
その他	50.0	50.0	50.0

・国産材ラミナの入荷価格動向は保合い。欧州材等は原料高やユーロ高から強含み。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・入荷動向は、入港遅れの感が少しあるが影響なし。在庫動向は、出荷が順調で在庫が増えない状況。

(ラミナ価格動向)

・欧州材は原料高、ユーロ高でラミナ価格は過去最高値に迫っている。

29年8月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/8月	9月	10月
生産動向	国産材	0.0	12.5	12.5
	WW集成管柱	0.0	16.7	16.7
	RW集成平角	0.0	16.7	16.7
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	△ 12.5	△ 12.5	△ 12.5
	WW集成管柱	0.0	16.7	16.7
	RW集成平角	16.7	33.3	50.0
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—

・構造用集成材の生産動向は、国産材、WW集成管柱、RW集成平角とも8月の横ばいから9月、10月は増加に。米マツ集成平角は3カ月連続横ばい推移。

・出荷動向は、国産材は3カ月連続減少。WW集成管柱は8月の横ばいから9月、10月は増加に。RW集成平角は3カ月連続増加。米マツ集成平角は3カ月連続横ばい推移。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/8月	9月	10月
スギ集成管柱	0.0	12.5	12.5
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	16.7
ヒノキ集成土台	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成土台	0.0	0.0	25.0
WW集成管柱	16.7	33.3	33.3
RW集成平角	50.0	50.0	50.0
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	—	—	—

・構造用集成材の出荷価格動向は、スギ集成管柱、ヒノキ集成柱、WW集成管柱、RW集成平角は強含み。

・ヒノキ集成土台、米マツ集成平角、米ヒバ土台角は保合い。

モニターからのコメント

(構造用集成材の荷動き)

- ・各品目受注は良いが、人手不足で生産量が増えない。

(構造用集成材の出荷価格動向)

- ・年内出荷は好調。